

瀬戸内市立瀬戸内市民病院だより

さんさん広場

第 127 号

《編集・発行》

瀬戸内市民病院広報委員会
瀬戸内市邑久町山田庄 845-1
TEL (0869) 22-1234
FAX (0869) 22-3296
URL <http://www.city.setouchi.lg.jp>



《理念》 市民に安らぎと幸せを届ける病院を目指します。



「今年も病院玄関に豪華絢爛大菊 7 鉢」瀬戸内市の花「菊」の展覧会が、10月16日（日）から11月16日まで市内で開催されています。当院にも愛好家2名の方が昨年が続いて正面玄関東側の大屋根下スペースに、見事な大菊3本仕立て7鉢を配置してくださっています。品種は新雪（白）、銀月（白）、富士の輝（黄）、右近（黄）、公爵（白）、秋舞台（紅）、岸の天守閣（黄・紅）の7種で、当院を訪れる方々の目を楽しませてくださっています。
(経営企画室次長 馬場洋一)

目次

- 写真「今年も病院玄関に豪華絢爛大菊 7 鉢」 ……1
- 経営企画室特集 「点けっぱなし 流し ……2
っぱなし やりっぱなし 『ばなし』は
節約ムードのぶち壊し」
- -接遇委員会発-3 年ぶり接遇研修（ライ ……3
ブ）を開催
- 回復期リハビリテーション病棟の実績 ……4,5
について
- 西病棟 回りハカフェあるばむ ……6
- 漫筆「見たり・言ったり・聞いたり（12）」……6
- 中学校 2 年生「職場体験学習」を受け入 ……7
れて
- シリーズ眼科の検査（5） ……7
- 総合案内を飾る季節の花（霜降の奇跡）……7
- 職員紹介コーナー『庭』 ……8
- 接遇委員会発「マスクでも 心に届く ……8
その笑顔」
- 編集委員のちょっと一服～オリーブの木 ……8
の下で～

経営企画室特集

「点けっぱなし 流しっぱなし やりっぱなし『ばなし』は節約ムードぶち壊し」

経営企画室次長 馬場洋一

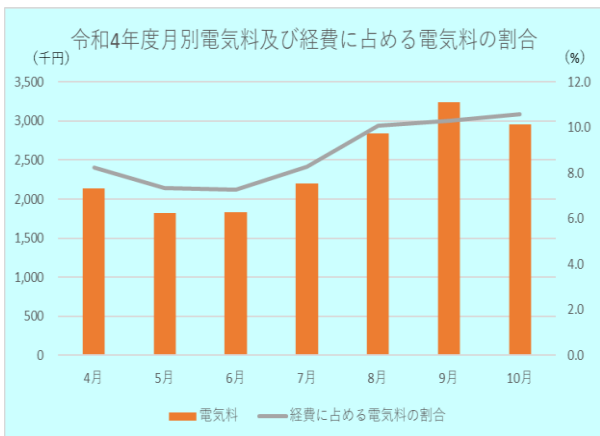
最近では、電気代の急上昇がテレビや新聞でも大きく報道され、国民である我々にとって大きな関心事となってきました。もちろん、我々病院にとっても同様で、今年度の使用電力料金は昨年度同時期比約33%増となっています。経営改善を主たる業務とする小職としては、以前から電気料金は経費に占める割合が高く、経営に与える影響の大きさに注目をしています。ことの発端は2016年に電力の全面自由化が打ち出されたところから始まります。それまで大手電力会社によって行われていた発電、送配電、小売の3事業のうち、小売事業に700以上の新電力といわれる事業者が参入しました。新電力事業者は「安価な電力」をキャッチフレーズとして、当時安価な仕入価格を背景に大手電力会社よりも安く供給したので、工場や病院など多くが新電力に移行したと耳にしたことがありました。しかし、仮に何かが原因で新電力の仕入価格が上昇したらどうなるのか、など考

えていると、新電力への移行は見合わせるべきとの結論に至りました。確かに、2021年半ばごろまでは仕入価格が堅調で販売価格は大手電力会社より安価な1kwh約11円くらいの販売価格でも利益が出ていたと思われま

す。しかし、その後、再生可能エネルギーに力を入れていた欧州では頼みの風力発電に風が吹かず、南米では頼みの水力発電に水不足で、ともにこれを補うため必然的に天然ガスの引き合いが増え、価格が高騰、その後はウクライナ情勢の悪化もあって、現在では4倍の仕入価格になっている模様です。つまりは運営すればするほど赤字になっていくという逆ザヤ状態に陥り、廃業に追い込まれた新電力も出てきました。一方、はしごを外された形の新電力契約者にしてみれば、新たな契約先が簡単に確保できないという事実もあつたようです。この電力クライシスともいわれる状況がどこまで続くかということですが、更なる課題も見えてきています。今年3月、東北で震度6

強の地震が発生、加えて折からの寒波の影響で電力消費が大きくなり、「電力需給ひっ迫警報」が出されました。当時、2011年の東北大地震以降の計画停電も検討されたところですが、これは発令寸前のところで回避されました。原因は、日本の電源構成にあるように、現在、76%は火力発電、20%は再生可能エネルギー、4%が原子力となっています。そのうち、火力発電は、2017年以降4つの発電所が老朽のため閉鎖、それに代わる2つの石炭火力発電、2つのLNG（液化天然ガス）火力発電の新設計画も世界的な脱炭素運動（カーボンニュートラル）に逆行するとの見方もあつてか計画が全て廃止となつていきます。それではどうやって発電需要を賄っていくのか、基本的にはS+3E（安全性+安定供給、経済効率性、環境への適合）の観点が必要とされていますが、電力不足への対策として、政府や関係者間では供給問題としては、休止の火力の再稼働、原発の再稼働、発電設備の増、蓄電池などの新技術。需要問題

としては、節電の要請、使用制限令、計画停電などがあげられています。いずれにしても限りある電気を賢く使うには、AIを中心に据えたテクノロジーにより、余る太陽光発電の利用や蓄電をまずは検討していただく。使用者にあつては平素から節電に努めていくことは当たり前になってくるものと考えます。我々の病院には、数年前からこのような国家的課題を反映したともいえる素晴らしい標語があります。「点けっぱなし 流しっぱなし やりっぱなし 『ばなし』は節約ムードのぶち壊し」今こそ、みんなが意識すべき課題ではないでしょうか。



— 接遇委員会発 —

3年ぶり接遇研修（ライブ）を開催

接遇委員会委員（地域医療連携室長） 石井泰三

新型コロナウイルス感染症第7波が収まりを見せつつあった9月21日（水）と9月29日（木）の2回、講師を招へいし、いわゆる3年ぶりのライブ研修を実施しました。受講者は両日で66名と盛況でした。

このように接遇研修を重点に置き実施した背景には、患者さんに対し行った満足度調査の結果があります。具体的には入院満足度が元年度から2年度にかけて7.2%改善したものの、2年度から3年度にかけては2.8%の伸びに留まりました。（※この入院満足度の計測は「総合的評価…全体としてこの病院に満足していますか（当院に入院してよかった）」の項目で比較しました。）

しかし、「態度と言葉づかい」のみに着目すれば、対象とした9部門のうち半数の5部門でマイナス評価と厳しいご意見を頂戴しました。つまり、接遇レベルはその場にとどまっていたのでは、歩みを進める他の病院に大きく水を開けられかねないのではないか、という危機が生まれました。患者さんや当院を利用される方々にとって、できるだけ心地よい環境の中で治療や療養に専念していただきたい、それが公

共財としての使命ではないのか。だから、①よりよい接遇を目指す。②時流にあった適切な接遇のあり方を学ぶ。という目的で実施しました。

講師には、当院の接遇研修ではおなじみの接遇マナー講師 清水由美子先生をお招きし、「今こそ『ホスピタリティ』と題し基本を中心としたご講義をいただきました。」

内容としては、①患者さんへの対応はまず「笑顔」、②笑顔を伝える5つの方法、③笑顔のチーム医療を、④笑顔の対応実践、に区分してお話になりました。まとめでは、「接遇マナーとは、「相手を大切に思う気持ちを、場面や状況に応じて適切に表現すること」と、説かれました。

受講者によって感じ方は様々だったと思いますが、研修アンケートを拝見しますと、総じて好評で、「笑顔」の大切さを重要と感じた人が多かったようです。中でも「当院の患者さんの満足度を向上させる方法として何が効果的だと思われませんか？」の設問に対しては、「患者さんを思う気持ち」が自然に『プラスひと言』につながるよう心がける、「患者さんの気持ちを受け止める。受容と共感が大切。そのためには、まず患者さんの言葉を受け

止めて、それができることなのかどうか、丁寧に検討する」など職種間の違いはあれ、とても前向きな言葉が並んでいました。研修の効果を大きく実感できた研修になりました。



回復期リハビリテーション病棟の実績について

理学療法士(回復期セラピストマネジャー)田中志穂

当院は2016年10月に回復期リハビリテーション病棟を開設して本年度で7年目に入りました。回復期リハビリ病棟では、急性期の治療を終えたものの家庭復帰や社会復帰するには不安がある方々に対し、医師をはじめ看護師、セラピスト、管理栄養士、MSW、介護福祉士等がチームを組んで、患者様の早期回復のために365日を通してリハビリを提供しております。退院された後に安全に生活を送れるよう、できるだけ実際の生活環境に合わせたリハビリができるようお住まいの環境をお聞きしながら退院後の生活を見据えて入院中からより良い生活復帰を目指して取り組んでいます。

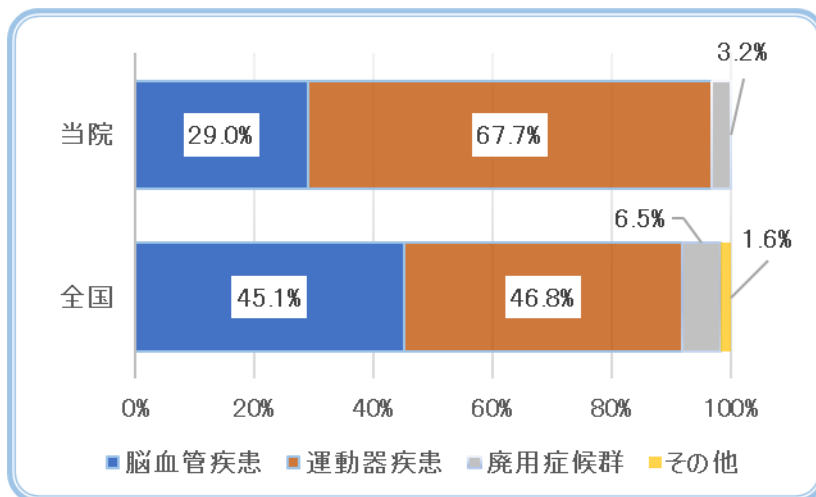
『当院回復期リハビリテーション病棟の実績』

調査対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

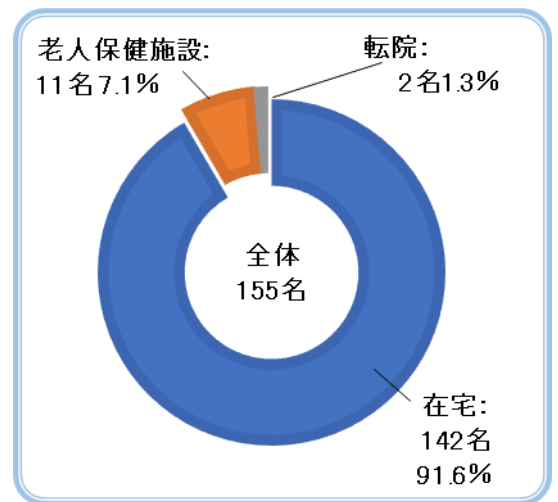
調査対象：回復期リハビリテーション病棟

退院患者数：155名

● 疾患別割合

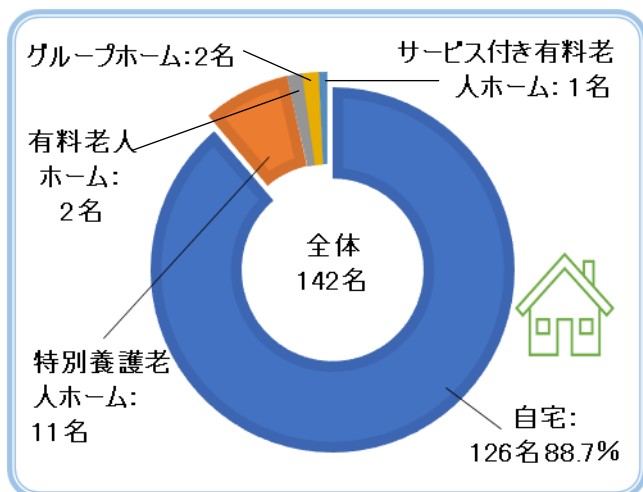


② 退院先の内訳

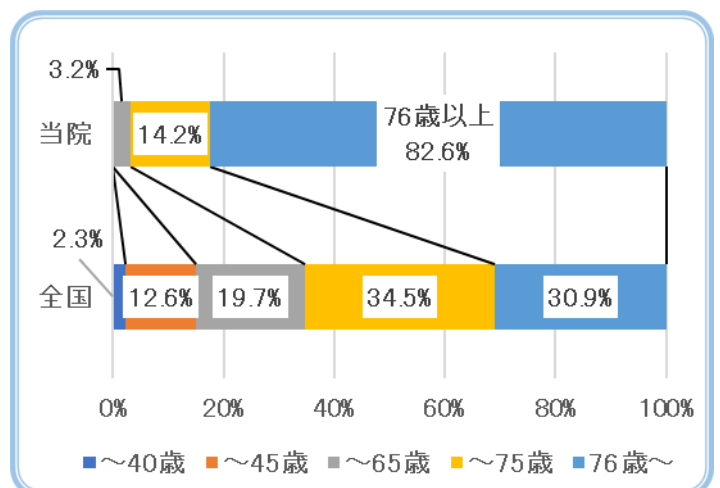


※回復期リハビリ病棟は自宅に戻ることを目的とした病棟です。そのため、在宅復帰率70%以上が定められています。

③ 在宅の内訳

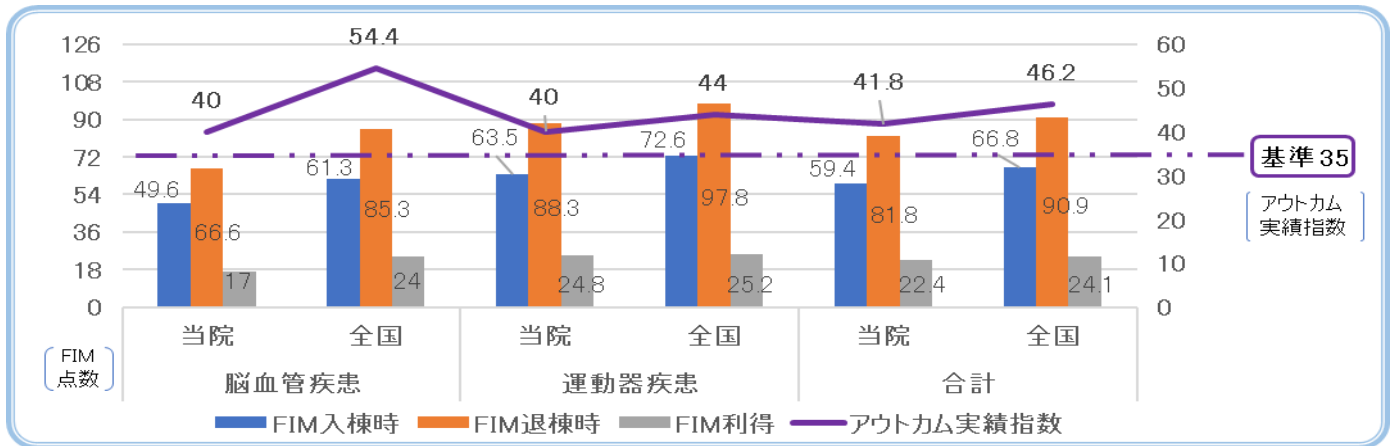


④ 年齢別内訳



※図①④⑤共通 全国：回復期リハビリテーション病棟協会調査より（2020年8月-9月）

⑤ アウトカム実績指数



○**アウトカム実績指数**：リハビリテーション効果を測る指標の1つです。退院された患者さまの機能的自立度評価表（FIM）が入棟時と比べ、どのくらい回復したかを点数化し、それに要した入棟期間を規定の計算に当てはめて計算されます。当院は回復期リハビリテーション病棟 入院料3を取得していますので実績指数 35以上が求められます。

○**FIM**：機能的自立度評価表（Functional Independence Measure）の略で自宅や病棟などでの「している日常生活動作」を数値化したものです。FIMの評価項目は**運動項目**（食事・整容・清拭・更衣・トイレ・入浴・移動などの13項目）と**認知項目**（コミュニケーション・社会認知の能力などの5項目）の計18項目からなります。各項目は1点（全介助）から7点（自立）で評価します。介助者が必要かどうか、介助量がどの程度必要なのかを知ることができます。合計は18～126点の範囲で測定されます。合計点が上がれば日常生活の自立度が上がることを意味しています。

○**FIM利得**：退院時運動項目FIM点数－入院時運動項目FIM点数＝改善度 を示します。

今回、実績調査を通して入院時のFIMの点数が全国平均より低く、入棟時の重症度が高いことが分かりました。その背景には図④でも分かるように当院の75歳以上の割合の高さです。年齢とともに生活の活動水準は下がる傾向にあります。その上、入院により治療期間が長引くと回復に時間を要することになります。図⑤について当院の脳血管疾患の発症平均年齢が80.5歳（全国平均73.1歳 図④参照）と高いということもあり、FIMの改善度であるFIMの利得が全国平均の24点より7点低い17点ということからも課題が残る形となりました。そのような中、自宅退院率88.7%という数値は患者さまの努力とご家族さまの協力だけでなく患者さまとスタッフ間の信頼関係ともいべき絆の深さに支えられていると考えます。そのことから、私たちスタッフは退院後の在宅回復期に向けた支援を入院中から目標を持って提供していくことが重要となってくるということをこの調査を通じて得ることができました。



西病棟 回りハカフェあるばむ

食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋

お月見
9月28日(水曜日)



運動会
10月26日(水曜日)



漫筆「見たり・言ったり・聞いたり」(12)

私は、もともとテレビが大好きで、ジャンルにこだわらなく見ますが、最近では「おいしい給食」というドラマが大好きで放映日があるのが楽しみです。主演は、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で13人のうちのひとり、勇猛な御家人八田知家を演じた市原隼人。「鎌倉殿の13人」と違って、このドラマではコミカルで親しみやすい中学教師を演じました。▼この先生は、給食大好き人間で「給食のために学校に行っていると言っても過言ではない」と言ってはばからない。また、給食は学校の1日にとって、一番のイベントだから校歌を歌うべきだと教職員会議で説き、給食前にはクラス全員全力で校歌を歌い、手を合わせて「いただきます」と唱和する。すべての所作が「給食道」なのである。そして、ドラマでは毎回、給食膳を前にして、給食献立に対する並々ならぬ知識と思入れが語られる。▼過日、温暖な気候で農業、漁業の盛んな我が瀬戸内市で「食のしあわせプロジェクト」開始が発表されました。概要は、市内の学校給食に地場産物を更に取り入れ、地産地消100%に近づけ、結果として子どもたちや保護者への食育、農業の活性化、地域経済の循環に結びつけるというものです。具体的な取組みを通じて、学校給食や「食」を通じて、前向きな気持ちを持つことができるような仕組みづくりも期待できるとのこと。▼給食という場と食というイベントを通じ、ドラマ以上に「子どもたちに笑顔を！」の実現を望んでいます。

(経営企画室次長 馬場洋一)

中学校2年生「職場体験学習」を受け入れて

事務局長 野口一成

コロナ禍により実施を見送っておりました「中学2年生職場体験学習」について、令和元年度以来3年ぶりに協力させていただきました。10月18日(火)～21日(金) 邑久中学校2年生女子3名が参加。当院の業務を体験していただきました。

体験の内容は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、入院患者さんのお世話や外来患者さんとの接する機会を除いたその他の業務に絞って体験していただきました。今回は、診療放射線部門では撮影機器の撮影方法、栄養部門では栄養指導・とろみ茶の試飲、リハビリテーション部門ではPT・OTなどセラピストによる訓練や車椅子の使用方法、外来・手術・中央材料室部門では手術用ガーゼの準備といった体験をしていただきました。その他、薬剤部門や臨床検査部門、健診センター、地域医療連携部門、事務部門においても日常業務の一端を体験していただきました。

体験学習に来られた生徒さんは、最初は緊張してしま

たが、職員からのやさしい指導により徐々に慣れ、笑顔が出るようになります。2日目からはみんなで協力する姿勢、率先して動く態度が目につくようになりました。最終日のふりかえりでは、生徒さんから、病院の各種職員が行っている医療安全など『患者から見えにくい仕事』が体験できたことの感動と感謝の言葉をいただき、将来は医師、放射線技師になりたいなどといった感想も届かれました。今回の職場体験学習を通じて得た経験を活かし、有意義な学校生活を送っていただきたいと思えます。また、将来は、医療従事者となって、私たちとともに瀬戸内市民の生命と健康を守る仕事についてほしいと思えました。



シリーズ眼科の検査(5)

(Q) OCT検査とは？

(A) OCT検査とは、光干渉断層計という器械を用いて、目の奥にある網膜の断面図を撮影する検査です。薬剤を使用する必要もなく、非接触・非侵襲で撮影でき、被曝の心配もありません。器械の中の光を見るだけですぐにできる検査です。体の検査でCTを撮るように、表面からは分からない病変や、病気の前兆をとらえることができます。断面を観察できることで、網膜の厚さ、腫れ、視神経が集まるところのへこみ(視神経乳頭陥凹(かんおう))の深さなどを立体的にとらえることができます。そのため、緑内障や加齢黄斑変性症などの様々な眼疾患の早期発見や精密な検査、経過観察ができるようになりました。

(視能訓練士 高下隆恵)

総合案内を飾る季節の花(霜降の奇跡)



霜降(そうこう)と呼ばれる10月末頃の時期、総合案内を飾った花たちです。なんと言っても目立つのは形のよい柿の実、そして中心に位置する色鮮やかなヒヤクニチソウ、可憐な紫色のシオン、鳥のホトトギスの胸の模様似ていることからネーミングされたホトトギス、後ろに控えるユリの実3つ。そして飾り紐の水引から名づけられた「慶事」と「感謝の気持ち」を花言葉とするミズヒキ。この時期の主役たる花や実を一堂に集めた「霜降の奇跡」。ご鑑賞いただければと思います。(広報委員会)

職員紹介「庭」コーナー



なかた ありさ
看護師 中田安里紗

こんにちは。看護師の中田安里紗と申します。私は、今年1月に病棟から外来へ異動となりました。慣れないことが多くで大変なときもありますが、優しい先輩方に助けていただきながら、楽しくお仕事をさせていただいております。私がかここ最近で好きになったことは登山です。足腰の運動となり、マイナスイオンを感じられる点や季節の花を観賞できる点が楽しいです。一番は頑張った後の山頂のランチタイムが至福の時間です。初めての登山の際に食べたカップラーメンの味が今まで食べてきたものの中で一番美味しく感じ、その味が忘れられません。初心者のため、今は低山登山しかできませんが、とりあえずの目標は大山登頂です。仕事でも常に目標を立てながら、現状に満足することなく精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

★★ 次号の「庭」★★

事務局主査の飯塚陽一さんです。ご期待ください。

接遇委員会発

「マスクでも 心に届く その笑顔」

今回で13回目となる接遇標語を決定しました。職員から広く募集し、応募作品の中から接遇委員会において1題を選び出し、6ヶ月ごとの標語として各職場に掲示、執務中における態度や心構えの基本としているところです。今回の応募数は前回より2題多い22題でしたがいずれも力作ぞろいで、大接戦の末最も高い評価を集めた「マスクでも 心に届く その笑顔」が選出されました。因みに次点は「目元から 伝わる思い その気持ち」でした。今回の応募作品には、

（8次）の影響を反映したものと推測される作品が、少なくとも7題は寄せられました。これは、コロナ禍にあつて日常の業務を通じ、接遇の対象となる患者さん、当院を利用される方々や職員等に対し、どういう気持ちで接することが病院理念や業務目的に沿うのか、ということや業務目的を通じ、あるいは想定した上での作品なのかなと感じました。今回もその時々々の世情を反映した活性化した標語選定ができましたことを報告いたします。（接遇委員会委員長（内科医長） 加原健治）

令和4年度後期目標

マスクでも

心に届く

その笑顔

接遇委員会

編集委員の

ちょっと一服



～オリーブの木の下で～

最近、家族が入院・手術ということがありました。その病院は転倒防止のため、スリッパは禁止ということだったので、入院中に気軽に履けるようにと、かかとが踏めるタイプの靴を渡すと、「ワシはかかとを踏むのは嫌いじゃ。」と言いながら持って行きました。手術当日は2人まで付き添い可能ということで、遠方に住む姉と共に部屋で待つことに。長い待ち時間でしたが、久しぶりに姉妹でゆっくり話が出来ました。手術を終え部屋に戻ってきた父はしっかりかかとを踏んでいました。何はともあれ無事に退院できてよかったです。(K)